

総合的な学習の時間

『プロフェッショナルに聞く』Part 4

14歳の君たちに送るメッセージ
～講話を聞いての感想編～

肥塚昭仁さんの講話を聞いて・・・

私は主に配られたプリントに書かれていた内容についてのお話が印象に残りました。「忙しいことはありがたいことである」や「この世に楽な仕事などない」のような仕事に対することだけでなく「時間と規則を守ろう」「自ら進んであいさつをしよう」「掃除、整理・整頓を心がける」といった今からできて今後も十分役に立つようなことがあって勉強になりました。私は今、あいさつと整理・整頓がまだまだなところがあるので、これを機に当たり前にできるようにしていきたいです。また、そのプリントの一番下に書いてある「ざい」の文字が違う4つの「人財」「人材」「人在」「人罪」。これも印象に残っています。私はおそらく下から2つめの言われたとおりにだけやる「人在」に近いなど話を聞きながら思いました。だから、これから言われたことを自分でやりきり、成果を上げられる最高レベルの人財の仕事ができるようにがんばりたいです。

私はまだ「将来の夢」というものをもってなく、どういった道に進むことになるかはわかりません。ですが、今回学んだことは将来、何の仕事に就こうと必要になってくることなので、このことを当たり前にできるようにしておきたいと思います。そして、将来「人財」のレベルの仕事ができるようになりたいです。



いつもみんなのそばで、すこしでもいい写真を撮ろうとチャンスをねらう肥塚さんのプロの目



肥塚さんは講話のときにたくさんの大切なことについてお話してくださいました。忙しいことは大変でもあるが、それ以上にありがたいことだということや生活の中で常に大事にしておくべきことなどを教えていただいて、私はその中の「自由と権利を言う前に義務と責任を果たせ」という言葉がとても印象に残りました。自由や権利を望むなど求めるばかりではなくて、何かを求めるのであれば、まずは自分のやるべきことを成し遂げる必要があると感じました。また、「人財」「人材」「人在」「人罪」について見聞きし、自分で精一杯だと思っても、それは「人材」ほどであって、まだできることがあるんだな、と自分を知るきっかけにもなりました。

肥塚さんが失敗した経験を話してくださって、プロであっても誰でも失敗はあるんだと知って失敗したからこそその気づきやこれからに生かしていけることがあることも知りました。

私はこれから自分の生活の仕方や大切にしたいことを常に心に留めていきたいと思いました。

今日、肥塚さんの話を聞いて私は様々なことが印象に残りました。「じんざい」漢字でいうと私は「人材」か「人在」だと思うので、その上の「人財」になれるようにがんばろうと思いました。

私たちはたくさん肥塚さんに写真を撮ってもらったことがあるけれど、肥塚さんはいろいろな苦勞や努力を陰でたくさんしているということがわかったので、ただ単に写真を撮ってもらって「ありがとうございます。」と言うのではなく、しっかり思いを込めてお礼を言いたいと思いました。

そして、肥塚さんは一度失敗したことは二度と同じ失敗をしないように原因を考え、また、失敗したことでもプラス思考で考えて、失敗したらすぐに上司に報告するということがわかったので、私も見習おうと思いました。また、「遅刻は絶対にしないこと」「学校のルールを守れない人は社会のルールを守れないということ」「ありがとう等の一言を大切にすること」「提出物はなるべく早めに出すこと」「お家の方に感謝の気持ちをもつこと」など身に付けておかないといけないことを忘れずに生活していきたいです。本日は本当にありがとうございました。

講話をしながらも、発表生徒にカメラを向け、その活動を撮影する肥塚さん



肥塚さんはアルバイトから社員になったことを知って、カメラマンのアルバイトがあることを知らなくてとてもビックリしました。また、写真を撮ったり写ったりするのが好きだからカメラマンになったということを知らなくて、自分の好きなことを仕事にできることはとてもいいな、と思いました。肥塚さんが大事だとおっしゃっていた「失敗したときは、次どうすればいいか考えて原因を突き止めること」はなるほどと思いました。肥塚さんは、昔写真を撮っていた時の失敗から、カメラ2台で写真を撮るようになったことを聞いて、次に失敗しないための対策をしっかり行って失敗から生かしていることがすごいなと思いました。肥塚さんがおっしゃっていた「マイナスな出来事ほどすぐに報告することが大切」ということについて、自分のこれまでの行動をふり返ってみると、親には自分が悪いことやしてはいけないことをしたときに、すぐに言えずに何日かたってから報告していたことを思い出しました。今日の講話を受けて、これからはなるべく早めに言うことを心がけたいなと思いました。

学校生活では提出物がある時は今まで期限当日に出せばいいだろうと考えていたので、これからは提出期限よりも前に出すことができるように前もって計画的に取り組んで行こうと思いました。

1年生の時から行事ごとに写真を撮りに来てくださる肥塚さん。集合写真では「まちっこっち」「まだよ」などとちよっとどこかの方言的なフレーズを使って、みなさんを笑顔にしてくれます。また、決められた数の写真を撮るだけでなく、できるだけみなさんのいい表情をカメラに収めようといつも工夫や努力をしてくださっています。本当にみなさんのために一生懸命写真を撮ってくださっています。その裏にはたくさんの磨き上げられたスキルや努力、経験から学んだ人間性があります。人からの信用や信頼を勝ち得るために、たくさんの人とコミュニケーションを取り、人間関係を築いています。また、南中に写真を取りに来られたときには、元気にあいさつして、1人1人の成長している姿を写真に収めてもらえるように日々の生活をがんばっていきましょう。

肥塚さん愛用のカメラ

